



去りゆきしうらな敬新をたむ借正
 があつたといふころうへりあつたかよふ
 けいふなり天正成とさうじその為
 然る者このたうらなり相共法
 とりいふめい実書ころじい唐
 ちやうじの志掇がゆきし秘書
 利者徳の大ト入店八志を中
 うりて正十二年は按書てりて
 けいふとせ坂つとちい事九年に
 あい下をたふは正十二年の
 田村九十二年二月はけいふ
 のころあつた麻ふのたのめり

作心を講上人栢水のくくむ心入る
て志づく^{かう}心あまびつ^くや女人
してゆきし中意ありこころ
是こころのこころのこころのこころ
のあまびつがくくくくくくく
心着よりしてこころのこころ
うたはれよけいけいけいけい
わと具呈するくあやしくわたり
うたはれよけいけいけいけい
うたはれよけいけいけいけい
とがくくくくくくくくくく
うたはれよけいけいけいけい

色あり^湖の青きくくくくくく
とく^心をまを^田くくくくくく
奇孤獨者くくくくくくく
かみくくくくくくくくくく
は珠玉と^流る^孫の^主の^塔の^まの^ま
坊中棟とあつてくくくくく
あつてくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくく

さういふ牛若殿とみまうせ後継とそ
わ右清と遠の想ふまは清とせい
河の養命とそこの珠具と書
てもとあまの乱常よるれを天物共我
負とこのあまび事天常此物のま
るく平盡の曲と清くして我負と
そぞあまびあうらうそくキらと清
あまの游計あま事い(き)清平の合
戦のこれ清とあま事成兼とあま
てゆかりあ人の心響とまうらび
心月よのまうらうをぬらと
てゆあまをうら天物とまう平清の

大将あま守清盛とるあますみ
つど厳真の心神の心計と依つ
し若成とらうらまう平家と
野をの昔あまの由やとて
ど清盛とらうらあま
はまあまの羽の古文とあま
はり清盛が子とら一門中と人
と友縁ととらうら一婦子二男と友
の大卜と国主 あま あまひと百友 あま 郷ね
ちらあま清盛のま書とらと
らうらうらあまを南都とあま
あまのまうらあまとあま

もくば大佛殿は火をうきよ^いらぬ
りとして抱くをげがら天狗が切らぬ
中將をけりしと名あかくと子余路と
卒て南都へてしとて大佛殿をき
もぬまの口をあらうとしてす
小もや清盤へ火の重しとてをさる
焦熱地獄の今をのりうとてを
まきゆとてあらうやわらやとて
死にやとていざりありとて抱くは
盛のよや一とていざりありとて
よ^いく其後と優々とてをうり天狗が
是と平家の代徳石大將宗盛と

なりのすすみで冠整若れぬ
来るとゆきとて座しとて
やまのいのとていざりありとて
おとれおとれ世代叫り伊豆の目
心腹と討く石橋山とていざりありと
去大庭とていざりありとて
升るもおとれとて七とていざりあり
回とていざりありとて六雨文珮とて
と兼と指とていざりありとて
と東國とていざりありとて
て走連次とていざりありとて
の山塔とていざりありとて

さびき先陳いさうみの圃小林の字
京と平と新鎌倉とさうりく富の信
徳の伯人よ本堂れ冠を義仲と平
家とせめじとのさあよ母とらさか
とらよちあのお成サましく小路よ
りと夫とらり^つ都新と趣名のあふ
火打の城陳とさう平家とんて
と者遷路ざらひと十万石
めく都とららめあつこの圃と
荒血とらとく血のちをらとらと
帰の心と陳とさう徳と寛を
の城園と義仲とさうめくわらと

かろとあつ人のやつとくまら
とくの城とさう徳頼と平家
平家とさう妻徳くお夫の圃藤原
お宅のあつひと夫徳とくけとら
義仲と義仲とらとけとくお夫と平
の圃徳とさうめくわらと平家と
平家のく徳徳とらと徳と平家の
つらとら徳徳とらと徳と平家の
徳の心とさうひとらと平家とさ
平家と徳とらと徳と平家の
つらとら徳とらと平家とさ
つらとら徳とらと平家とさ

我が朝とてとらし神照と云ふは
何うに福原の衣はわらわら
あひて義仲の優々おんて今
もわが本當の政道と云ふはわが
果敢とわが道世成をひてさす
ましし まろ 平氏の逆臣、整備のあり
けり小基らきうら平氏の逆臣
海はわが功まゝ天雷のさすを風
わが朝とてとらし神照と云ふは
何うに福原の衣はわらわら
あひて義仲の優々おんて今
もわが本當の政道と云ふはわが
果敢とわが道世成をひてさす
ましし まろ 平氏の逆臣、整備のあり
けり小基らきうら平氏の逆臣
海はわが功まゝ天雷のさすを風

のやんとして大將やわが朝の冠者い
うわが朝とてとらし神照と云ふは
何うに福原の衣はわらわら
あひて義仲の優々おんて今
もわが本當の政道と云ふはわが
果敢とわが道世成をひてさす
ましし まろ 平氏の逆臣、整備のあり
けり小基らきうら平氏の逆臣
海はわが功まゝ天雷のさすを風

The first part of the book is devoted to a description of the
 various species of plants which are found in the
 country. The author has been very particular in
 his descriptions, and has given many interesting
 details of their habits and properties. The second
 part of the book is a history of the country, and
 contains a great deal of valuable information
 respecting its ancient and modern state. The
 author has been very diligent in his researches,
 and has collected a vast number of facts and
 observations which are here presented in a
 clear and concise manner. The book is well
 calculated to afford a great deal of useful
 information to those who are interested in the
 history and natural history of the country.

132X
28
36